


分野	21	保健・医療
施策	211	健康づくりの促進
<b>5年後の目標</b>	「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	健康づくり教育事業		会計	款	項	目	815,139	健康医療推進室
			一般	4	1	4		
事業の概要								
「自分の健康は自分で守る」という意識と行動の浸透のため、生活習慣病や要介護状態の予防等の知識の普及を図り、健康意識を高めます。市民全体へのポピュレーションアプローチ及び個々への動機づけとなるよう従来の健康教育に、更に情報配信の方法や内容の工夫を行い、市民の健康増進に努めます。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	健康づくり啓発事業の参加者数				単位	人
	現 状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	7,100(平成26年度)	目標	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
		実績	12,359				
	指標	広報・ホームページ等による健康情報の配信回数				単位	回
	現 状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	22(平成26年度)	目標	23	24	25	26	27
		実績	25				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理のために検診結果や、血圧などの記録を記入する健康手帳は、健康づくり事業とがん検診等の情報チラシを同封し、積極的に情報を発信しました。</li> <li>健康増進普及月間にあわせて、市役所庁舎・保健センターの階段に、健康づくり啓発として階段アートを作成し、市民に情報発信しました。</li> <li>若い世代に関心がある骨密度測定と健康教育を組み合わせた教室を行い、68人が参加しました。</li> <li>医師による糖尿病の講演会を行い、98人が参加しました。</li> <li>広報・ホームページ、検診会場、子育て相談会、乳幼児健診などあらゆる機会を活用して、健康づくりについて情報発信を行いました。</li> </ul>						階段アート 

施策の「5年後の目標」に対する評価			
平成28年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド
		健康寿命	健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団がん検診、新生児訪問、子育て相談会など、対面が可能な機会を活用し、保健指導を実施した結果、啓発事業の参加者数は目標を大きく上回りました。</li> <li>広報・ホームページ等による健康情報の配信回数は目標を達成しました。</li> </ul>
課題等	啓発の手法や、情報発信の方法が定型化・形骸化してしまうと、参加者数が伸び悩む傾向にあるため、対象者が関心を持ち続けてもらえる工夫や、最新情報を提供する必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1:計画通りに進めることが適当 対応策等 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業対象者への個人通知や訪問活動で啓発することは引き続き実施していきます。</li> <li>特に若い世代から健康づくりに取り組めるように関心のある内容にするなど情報発信を工夫します。</li> <li>健康づくりに関心が高い層は、自ら健康づくりのための情報を収集したり、健康行動をとることができますが、関心が低い層には、母子関連事業など他目的で保健師と関わる機会を利用しながら、広く広報等で情報発信するなどの健康意識を高める働きかけを行います。</li> </ul>

分野	21	保健・医療
施策	211	健康づくりの促進
<b>5年後の目標</b>		「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	成人健康診査・がん検診事業		会計	款	項	目	65,691,794	健康医療推進室
			一般	4	1	4		
事業の概要								
<p>健診・検診の受診勧奨やがん予防及び疾病予防の啓発を実施します。            国や京都府との連携や受診体制の更なる充実を図り、新たな健診・検診受診者の増加や定着を促進します。            また、歯科口腔を健康に保ち生活習慣病予防につなげるために、歯周疾患検診等の充実を図ります。</p>								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	大腸がん検診受診率				単位	%
	現状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	23.1(平成26年度)	目標	23.5	24.0	24.5	25.0	25.0
		実績	22.6				
	指標	乳がん検診受診率				単位	%
	現状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
18.9(平成26年度)	目標	19.0	20.0	22.0	23.0	25.0	
	実績	19.5					
<ul style="list-style-type: none"> <li>国の「がん検診推進事業」等において乳がん検診40歳、子宮がん検診20歳の対象者に検診無料クーポンを送付するほか、未受診者に対して再勧奨通知を行いました。</li> <li>平成28年度から乙訓以外の医療機関でも乳がん検診が受診できるようになりました(京都府内広域乳がん検診受診制度)。</li> <li>京都府の健康づくりモデル事業と連携し、身近なコンビニエンスストア駐車場で肺がん検診等を実施し、初回受診者が増加しました。</li> <li>20・30歳代健診受診者の多くを占める女性をターゲットに、女性のがん検診受診啓発の動画を市ホームページに掲載し、広く市民に発信しました。</li> <li>集団がん検診、新生児訪問での保護者向けなど対面が可能な機会を活用し、保健指導を実施しました。</li> </ul>						<p>検診を受けるお玉ちゃん</p> 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		健康寿命	健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。		196
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>大腸がん検診受診率は、目標を達成できませんでしたが、乳がん検診は目標を達成しました。</li> <li>乳がん検診を受診できる場所が増え、受診者の利便性が向上しました。</li> <li>がんの早期発見ができることにより、医療費の抑制、市民のQOLの向上を図ることができま</li> <li>乳がん・子宮がん検診無料クーポン送付後に未受診者に対して再勧奨通知を送付したことにより通知後の受診者が増加しました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率が目標に達していないため、さらなる啓発が必要です。</li> <li>経年受診で要精密検査未受診者からがんが発見されているため、今後も地域の医師会と連携した受診勧奨が必要です。</li> </ul>				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	<p>方向性</p> <p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>対応策等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査の個別通知時のちらしに、がん検診の申込書を掲載して検診の申込みを促します。</li> <li>歯のひろばや食育推進などのイベント、地域の健康教室の参加者の他、新生児訪問・乳幼児健診の保護者への受診啓発など、あらゆる機会をとらえて、受診の啓発を行います。</li> <li>引き続き、京都府の健康づくりモデル事業と連携し、身近なコンビニエンスストア駐車場で肺がん検診を実施します。</li> <li>受診者の利便性を図るため、乳がん検診の個別検診の受け入れ人数を増やしていきます。</li> </ul>

分野	21	保健・医療
施策	211	健康づくりの促進
<b>5年後の目標</b>		「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	食育推進事業		会計	款	項	—	健康医療推進室
			—	—	—		
事業の概要							
<p>家庭、保育所、学校、地域において様々な機会に、食生活と栄養についての知識の普及及び地産地消を推進し、地域社会の活性化、豊かな食文化の継承に取り組み、第2次食育推進計画に従って事業を推進します。</p> <p>また、長岡京市食育推進委員会の構成団体を増やします。</p>							

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	市内小学6年生の朝食欠食率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	2.8(平成26年度)	目標	2.1	1.6	1.1	0.5	0.0
		実績	2.7				
<p>・平成28年4月から実行期間とする第2次食育推進計画を策定しました。</p> <p>・食育推進イベントとして、7月2日(土)に中央公民館で「ながおかきょう食育ひろば」と、食と関係の深い「歯のひろば」を同時開催しました。採れたて野菜の料理を親子で学ぶコーナーや、講師によるミニ食育講座、出汁の試飲、地元産野菜の紹介と販売、学校給食の紹介等を行い、おとな210名と子ども149名が来場しました。</p> <p>・食育の推進と心身の健康増進を図るため、各種健康教室などを通じて、ライフステージに応じた食生活と栄養についての知識の普及啓発を行いました。</p>						出汁の試飲	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	健康寿命	健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。			196
	達成度合 (目標の80%~100%程度)	達成状況	<p>・朝食の欠食率については、目標は達成できませんでした。</p> <p>・食育推進イベントを通して、参加者に食育について啓発することができました。</p> <p>・地域の地産地消推進協議会や生活改善クラブ等の団体、京都府(乙訓保健所、京都乙訓農業改良普及センター)、総合計画推進課、こども福祉課、学校教育課、農林振興課等の食に関わる庁内各課と連携・協働して進めました。</p>		
課題等	<p>・食育は、心身の健康と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を自ら選択できる力を身につけ、健全な食生活を実践できる人を育てることです。対象者は、全市民であり、あらゆる世代の人が食についての知識を深め、豊かな食生活が送れるよう、各事業や活動を通じて食育を推進することが必要です。</p> <p>・学校とも連携し、早期から食育の大切さを知ってもらえるよう啓発に努めます。</p>				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動) 1:計画通りに進めることが適当	<p>・広く市民が参加できるように平成29年度から、年1回開催の食育ひろばから発展して、講演会形式の食育ひろばと体験形式の食育ひろばを実施します。</p> <p>・食に関わる関係団体や、庁内各課と連携・協働し食育を推進します。</p>